

業務執行的意思決定・設備投資の意思決定・段階的意思決定

DVDは下記の順序で聞いてください

- ①意思決定入門
- ②業務執行的意思決定
- ③設備投資の意思決定

ここまでは、すべて日商簿記1級講座の内容です（診断士の意味決定と日商簿記1級の意味決定はほとんど同じです）

その後、論点整理ゼミ # 4 を視聴して下さい

では段階的意思決定の問題を確認しましょう。  
（平成 23 年の第 4 問です）



コスト高の場合・・・△100 となるので投資はしません

コスト低の場合・・・110 となるので投資（△15）します→NPV95

期待値計算  $(0 \times 1/2 + 95 \times 1/2) - 10 = 37.5$

R&D 実施により、正味現在価値は+になるので投資をすべきである。

「R&D というオプション費用を払う事で、投資をするかどうかを決定できる」という意味でリアルオプションと呼ばれる事もあります

※R&D Research&Development=研究開発

なお、付け加えると、この回の設問では「R&D 実施により、コストの高低が判明すると仮定した場合」とあります。これを詳細に場合わけすると

1年目	2年目	3年目
低	低	低
		高
	高	低
		高
高	低	低
		高
	高	低
		高

このように8パターンの結果となります

各事例で計算する事は可能ですが、かなりの時間がかかり、また計算ミスを犯す確率も高まります。よって、本試験では、簡単なパターンで解答する（採点では別解ありとなる可能性高い）方法を採用するべきである、